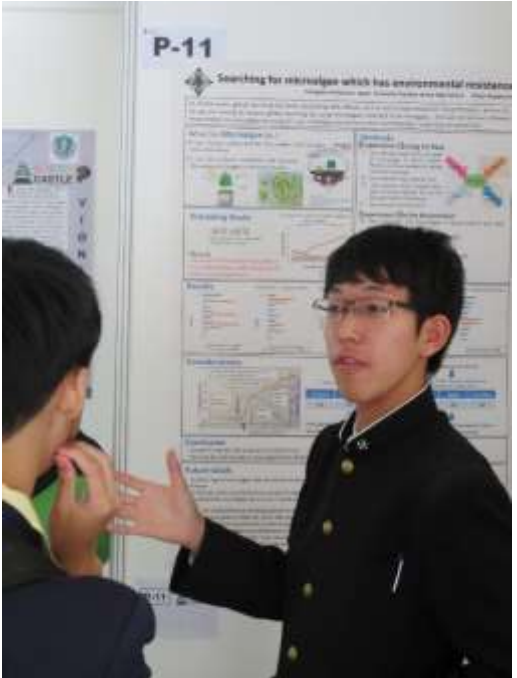


山形県立米沢興讓館高等学校SSH通信

サイエンスキャッスルinシンガポール

2年理数科 我妻孝樹君 参加!



世界って広い! 新たな視野の構築! シンガポール研修で学んだこと

二年一組 我妻 孝樹

私は十月下旬から十一月月上旬にかけてリバネス主催のサイエンスキャッスルシンガポールに参加してきました。これまで私は研究発表をしたことがなく、初の海外でのチャレンジでした。私はこのシンガポール研修を通して皆さんのことを学ぶことができました。シンガポールでは研究発表の他、企業研修や海外の人たちとのディスカッション・交流などもしてきました。

まず企業研修では、シンガポールが自前で水を供給できるように、「Newater」という企業が頑張っていることを知りました。シンガポールでは、水の大部分はマレーシアからの輸入でまかっています。2060年までにその協定が終わるため、シンガポールは国を挙げて自前の水供給ができるように現在、頑張っているそうです。続いて行ったのは「Yoniss Cosmetics」社です。世界的に有名な企業で、飛行機のエンジンや、車の部品などを全てハンドメイドで作っています。ここは優れた技術者、開発者が多く集まっていることを象徴するような企業・工場でした。Fusion worldという施設も訪れたのですが、興讓館が行っている異分野融合サイエンスのように、シンガポールでも科学と身近なものを結びつけて様々な科学製品を開発しているそうです。自分の学校で行われているようなことが海外でも行われていたことに驚きました。シンガポールは建国されて50年余りの国ですが、ここまで大きく成長してきた。海外から優秀な人材を登用し、あの小さな国土に科学技術を詰め込む、まさに戦略型の国でありました。シンガポール大学もアジアトップを誇る大学となりました。この国のように戦略、ステップをしっかりと国民全体で理解して行う政策を日本も参考にできるのではと思いました。

研究発表では、最終選考三点の中に残ったものの、最優秀賞を受賞するまでには至りませんでした。シンガポール・マレーシア・フィリピンなどの国は実際に機械を作ったり、マウスを使った動物実験も行っており、同じ高校生とはいえ、ハイレベルな研究をしていることに驚きました。

研修を通して感じたことは、世界のそれぞれの国にはそれぞれの課題があり、様々なことに挑戦して国力を大きくしてきたことです。世界を自分の目で見て、日本とは異なる文化を感じることもできました。また私と共に日本から訪れた人たちとも様々な意見交換ができたことは、とても貴重な体験となりました。来年からは本校探究科からも生徒が訪れるそうです。海外研修で見聞を広めてほしいと思います。貴重な体験をありがとうございました。

